
2019年度 第5回
郵博 特別切手コレクション展
ステーションナリー展

展示作品解説パンフレット



主催

郵政博物館、特定非営利活動法人郵趣振興協会

展示団体

ステーションナリー展実行委員会

後援

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

開催日時

2019年10月5日（土）13:00-17:30

2019年10月6日（日）10:00-17:30

会場：郵政博物館

二つ折り葉書 (5)

齋 亨

世界切手展 CHINA 2019 に出品して LV を受賞した作品です。日本のはがきは、日本の龍切手が発行されてから 2 年後の 1873 (明治 6 年) に発行されました。世界のはがきの発行順としては、日本が 13 番目と異例の速さでした。日本の技術で、東京にて「紅梓はがき」の発売を試行した、当時の明治官僚の企画、実行力、速さは、世界に誇る偉業であります。

「二つ折りはがき」は、世界の中では稀な手彫りのはがきなので、製造面のおもしろさを表現しました。又、芸術的な「紅梓はがき」の美しさは、切手、はがきの中でも 1 番と思いますので、ぜひ鑑賞してください。



紅梓半銭葉書「雛形」プルーフ

小型丸菊仮名なし1銭はがき(4)

石川 勝己

小型丸菊はがきは、5×2の10面で版(シート)が構成されています。版の耳紙には、切断の目安としてトンボがあり、1、5、6、10番のコーナーはトンボによりポジションが確定でき、版を確定できますが、5、10番のコーナーと特定できる例は多くありません。6番は70を超える版を見つけていますが、版数はまだ確定できていません。

トンボの形が十字型をタイプA、かぎ型をBタイプとして版別を行い、ポジション1番のトンボタイプA 1版、2版と表示していますが、版番号は、あくまでポジション別の版番号になっていますので、例えばポジション1番と5番のトンボタイプA 1版が同じ版であることを意味していません。

トンボの連結による位置の特定、そこから枠線の特徴による版別につながり、リコンストラクションが可能になれば面白いかもしれませんが、切手のリコンストラクション以上に途方もない作業となります。

印面の調査もほとんどされていないと思われ、エラー、リタッチなど面白いことがありそうですが、1000枚に1枚しかないため、これも大変な作業となります。ここでは、コーナーの面の版別を一部を紹介し、それだけではつまらなくなりますので、使用例についても少し展示しています。

[コラム]切手コレクションの観覧順序

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

展示会に展示される切手コレクションは、「展示リーフ」という用紙に整理されて展示されています。この「展示リーフ」は16枚ごとにパネルに収められ、各パネルで矢印の順で展示されています。

従いまして、各パネルにおいて、展示リーフは、上段から下段へ、左から右へと、ご覧ください。

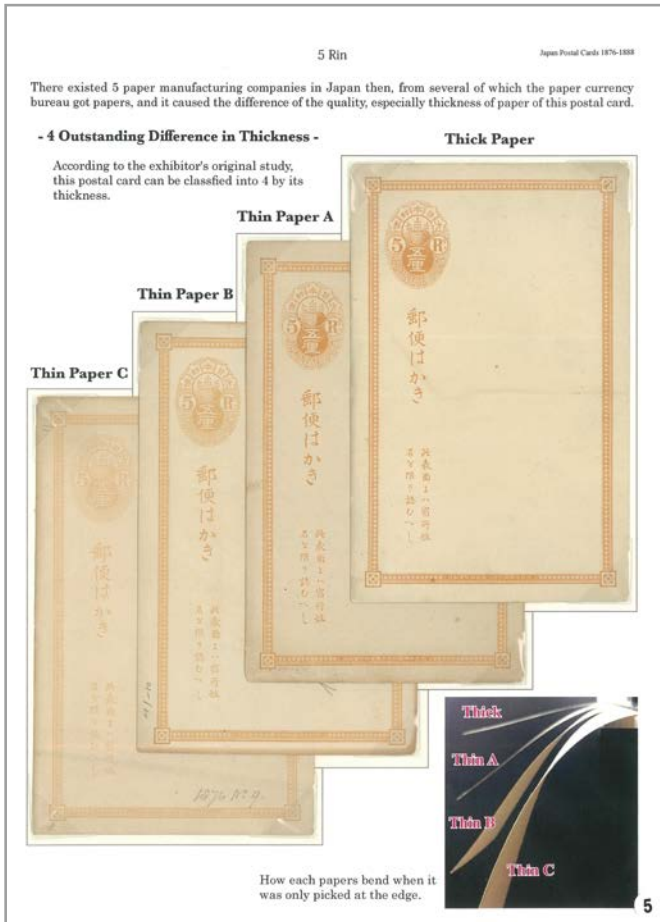
なお、切手コレクションの整理方法には様々なやり方がありますが、この展示方法は、分かりやすさ・コストなどの点で現在最も普及している方法です。日本だけでなく、欧米、アジア、オセアニア、アフリカの各国でも同様の方法が採用されています。

作品をご覧になられてのご質問や切手収集に関するご質問については、場内におります主催者・展示者にお声がけください。

本作品は、小判葉書の製造面を独自研究により分類したステーションナリー作品です。

同葉書の製造期間である 1876-1888 は、印刷局の複製能力が飛躍的に向上した期間であり、当該期間前半において完成品に大きなバラエティがみられ、それは切手よりも面積の大きい葉書においてより顕著です。

多くのサンプルを蓄積した上で分類を行い、さらに使用済で出現時期の特定をしました。使用例は、逓送路、料金、消印、制度から珍しいものを抜粋しました。



小判五厘葉書用紙バラエティの研究 (5 ページ目)

日本一ポスタル・ステーションナリー 1898-1908 (5) 古家 美和

明治31年から明治41年に発行された、普通はがき、封緘はがき、事務用はがき、軍事郵便用はがき、切手付き封筒、外国郵便用はがきを在中国郵便局で使用された「支那」字入りと「軍事郵便」「通信事務」と加刷されたものを含めて展示しました。



「支那」字入り薄墨連合往復葉書

日露戦争 美人画 封緘葉書 (3)

安藤 源成

明治36年11月15日から5日間、播磨地方で「陸軍特別大演習」が行われ「坂野 鉄次郎」は各軍に「野戦郵便局」を設置して総指揮をとった。

翌年、「日露戦争」の開戦に伴い、坂野は「野戦高等郵便局長」を兼務し、戦地の各部隊の各軍に郵便隊員を随行させ、野戦郵便局を開設した部隊との状況連絡や内地の身内や友人との連絡を密にした。また、彼の尽力により在支軍人に慰問品として多くの絵葉書や封書が配布され、「無料扱いの軍事郵便」としたので、膨大な取り扱いがなされ、日露の軍事郵便の残存数は多い。しかし、野戦郵便局の印影は極めて不鮮明のものが多い。

今回、展示した「美人画」を描いた「封緘葉書」も坂野の肝いりで、民間で印刷して戦地に慰問品として送られたものであるが詳細な記録は無い。戦地では絶大な人気を博し、未使用で持ち帰った軍人も多く、未使用が多く残っている。発行された図柄の種類や数量は判らない。



美人画を描く封緘葉書

1943 MALAY 4C POSTAL CARD (1)

菊地 恵実

本展示は、昭和 18 年（1943 年）の天長節（4/29）より日本占領地マライで発行された正刷葉書を、製造面（エッセイや版タイプ、紙質、シェード違いなど）と、使用面（外国宛や特殊取扱い、現存一点となる葉書の額面部分切り抜きの使用例など）で構成したワンフレームコレクションです。

特に版の研究に力を注ぎ、研究結果を版分類としてまとめ、本年ストックホルムで開催された STOCKHOLMIA 2019 に出品し、LV を受賞致しました。ひとつの葉書のバラエティの豊富さ、そこから製造、使用された背景などを想像してご覧頂ければ幸いです。



正刷葉書用エッセイ

記念・特殊葉書 (8)

須谷 伸宏

日本で発行された記念・特殊葉書は現在のところ 1936(昭和 11)年に発行された帝国議会議事堂竣工から 1993(平成 5)年に発行された皇太子殿下御成婚まで 48 種類あります。本作品では、これら全てを時系列で展開し製造面、使用面で分類しました。

製造面ではアーカイブ、みほん、一部未使用と、シェード、紙質、エラー、変種などを展示しました。使用面では基本的な単独使用ばかりではなく、年賀使用、選挙使用、特殊使用(速達便)、外信使用なども多く展示しました。また消印に関しても、一般的な櫛型印、機械印ばかりではなく、外地印、鉄道郵便印なども展示しました。



愛国募金 ダイプルーフ・エッセイ

年賀はがきの特殊使用例 (2)

中世古 誠

年賀はがきの特殊な使用例についてまとめてみました。前半は国内使用例で、特殊料金扱い（速達・書留）について。とくに速達については、年賀特別料金期間中のもの等、いくつかの種類に分けて集めています。また、年賀はがきのクリスマスカード使用（非年賀）や年賀欠礼使用（年賀使用、前年非年賀使用）なども面白いです。

後半は、年賀はがきの外信はがき使用についてまとめています。船便や各航空料金をわけて集めていましたが、まだまだ未完成です。



昭和 39 年年賀葉書 書留使用

暑中見舞葉書 (2 円料金時期) (1)

須谷 伸宏

年賀状と同じく、多くの国民の習慣となっている暑中見舞用葉書は、季節感をもった絵柄を裏面 (通信文) に印刷して、1950(昭和 25) 年から発行されました。

本作品では、1950(昭和 25) 年の第 1 回発行 (裏面 5 種類有) から 1951(昭和 26) 年の第 2 回発行 (裏面 2 種類有) までの葉書料金 2 円時期のものに限定して展示しました。この時期は、製造面ではまだまだ品質が安定しておりませんでした。したがってシェードバラエティや、多くの製造エラーが見られます。

使用面においては、消印バラエティが豊富に見られます。本作品では、製造面では、アーカイブ (原画)、みほん、シェード、製造エラーを示しました。使用面では、単独使用のみならず加貼使用 (速達使用、年賀使用) も示しました。



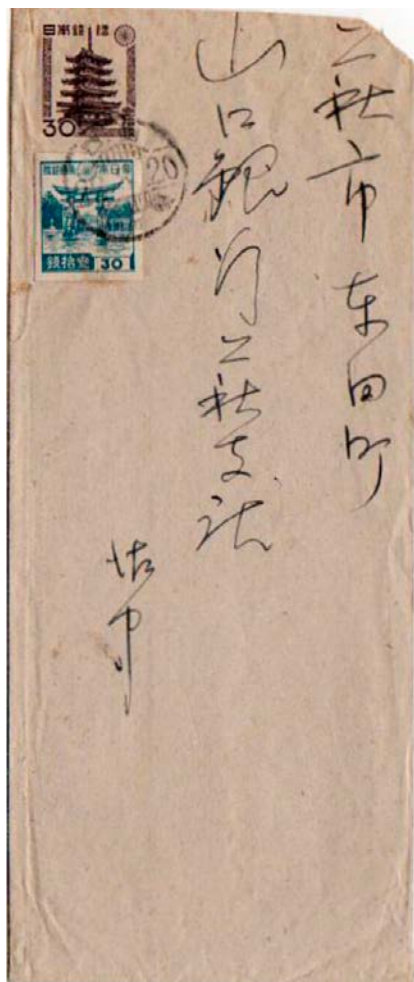
昭和 26 年用 作者サイン入り原画

戦後の切手付封筒の使用例 (2)

中世古 誠

戦後の切手付き封筒、30 銭、1 円 20 銭、8 円の 3 種類の使用例についてのみ、まとめてみました。

各基本料金である第一種書状 30 銭時期、第一種書状 1 円 20 銭時期、第一種書状 8 円時期の基本使用例、重量便使用例、速達使用例、書留使用例を揃え、切手期封筒が発行されなかった第一種書状 5 円時期や第一種書状 10 円時期の使用例についても、重量便や特殊扱使用について展開してみました。



30 銭切手付き封筒 重量便使用

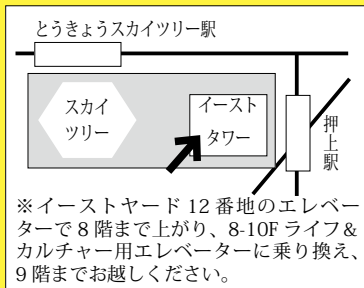
郵博 特別切手コレクション展

1902年(明治35年)に開館した「郵便博物館」に
その起源を遡る「郵政博物館」で開催される特別展です

2019年度に開催予定の特別切手コレクション展一覧

開催期間	特別展名
4/19-21	前島密没後 100 年記念展 郵便の父・前島密翁の遺徳を偲び、関連郵趣品や博物館秘蔵の逸品を公開
4/27-5/6	改元記念・皇室関係フィラテリー展 平成の終焉と新元号への移行という節目に臨み、皇室関係の郵趣品を一堂に展示
5/18-19	郵便制度史展 2019 ポスタル・ヒストリーのメイン・ストリームを織りなすコレクションの数々
6/8-9	南方占領地の第2回フィラテリー展 第二次世界大戦中に日本が南方占領地で発行した切手のコレクション
10/5-6	ステーションナリー展 わが国における「ステーションナリー」の最高峰コレクションが揃い踏み
10/12-13	第7回ヨーロッパ切手展 今年のテーマは「英国・英領」。国内外切手コレクターの力作が並ぶ。
2020年 2/1-2	第3回いずみ展 わが国郵趣グループのトップ・ランナーの実力がここに明かされる

特別切手コレクション展の開催時間は原則として午前10時～午後5時半ですが、初日だけ12時開始になる事が多いので、ホームページでご確認の上、お越しく下さい。



郵政博物館への行き方

所在地 東京スカイツリータウン・ソラマチ 9階
※イーストヤード12番地のエレベーターで8階まで上がり、8-10Fライフ&カルチャー用エレベーターに乗り換え、9階までお越しく下さい。

最寄駅 押上駅(東京メトロ半蔵門線、都営浅草線、東武スカイツリーライン、京成押上線)、とうきょうスカイツリー駅(東武スカイツリーライン)両駅から直結。

共催 郵政博物館、特定非営利活動法人郵趣振興協会

<http://kitte.com>